

品川区議会議員 区政報告

日本共産党



# おくの晋治

区議控室：〒140-8715 品川区広町2-1-36 Tel：03-5742-6818 Fax：03-3778-3088

区政報告について、ご意見、ご要望をお寄せ下さい。  
ホームページ：<http://senkyo.jcp-tokyo.net/okuno/>

## 羽田新飛行ルート運用開始決定 国交省が区議会に説明

### 12人の区議が「容認できない」立場から問い質す 自民・公明は一言も発言せず

国交省は羽田新飛行ルートの運用開始を決定し、9月6日、区議会にその説明を行いました。

共産・ネット・品改・無所属の12人の区議は、区議会が3月に全会一致であげた「新飛行ルートを容認できない」との決議の立場から国交省を問い質しました。

共産党品川区議団が13日に発表した声明の全文を、以下に紹介します。

#### 羽田新飛行ルート運用決定に関する国交省の区議会への説明について

国交省は8月8日「地域の理解が得られた」として羽田新飛行ルートの運用開始を決定し、品川

区議会に対するその説明が国交省の申し入れにより9月6日に行われました。

しかし、そこで明らかになったのは、区民も区議会も無視して、あくまでも新飛行ルートを強行しようとする国交省の姿勢でした。

この場で共産党は、品川区議会が「新飛行ルート案を容認することはできない」との決議を全会一致であげているにもかかわらず、国交省がこれを無視して「地域の理解が得られた」などと一方的に運用決定したことに強く抗議をし、決定の撤回を求めました。

おくの晋治プロフィール：1956年愛媛県松山市生まれ。愛光学園中学・高校、東京大学法学部卒。塾講師・家庭教師、品川区議団事務局を経て、2018年9月初当選。現在2期目。西五反田在住。趣味は映画・演劇鑑賞。山田洋次が大好き。

また、共産党を含む12人の区議会議員が、「品川区議会は容認できない」と思っていることを国は認めるか」、「13回にわたる住民説明会のどこで住民の理解が得られたと判断したのか」、「区議会としては理解したつもりはない」、「品川区から理解を得られたと思っているのか」、「今日の説明で理解が得られたとはならない」などと問い質しました。一方、自民・公明の区議会議員は一言も発言しませんでした。

これに対して国交省は、「3月に区議会が

そういう決議をしたこととは認識しているが、7月30日に追加対策を示し、区議会決議を踏まえた品川区の意見に対する国交省の回答を示した上で8月8日の運用開始の決定をした」、「住民説明会は羽田空港の機能強化について説明し質問・意見を聞く場であって理解を得られたか否かを判断する場ではない」、「理解が得られたというものはあくまでも国交省の判断」、「品川区からは理解を得られたと思っ

品川区議会が「容認できない」という決議をあげた場合にどうするのかという質問に対して、運用開始の決定に従って新飛行ルート計画を実施していくと強弁しました。羽田新ルートは「地元の理解」を得て実施すると言っておきながら、その地元の理解の有無はあくまでも国交省が勝手に判断するといふのでは、地元の住民の実際の意思を結局無視するものです。今回の説明ではそのことが国交省自身の言葉で明らかにになりました。

最後には、もう一度

新飛行ルートは私た

ち区民の日々の暮らしに重大な影響を及ぼし、命をも脅かすものです。品川区民の意思を無視して決めてよいはずがありません。国民主権、民主主義、地方自治が最も強く要請される所です。

日本共産党品川区議団は、今回の国土交通省の羽田新飛行ルート運用開始決定に改めて強く抗議し、今回の品川区議会への説明をもつても品川区議会の「新飛行ルート案を容認することはできない」との立場は変わらないことを述べ、決定の撤回を求めます。以上

都心・品川低空飛行の羽田新ルート計画は撤回を

日本共産党